

心ひとつに

弥富市立桜小学校
学校だより
No.4
平成25年5月20日

集団行動隊－5年竹組が模範演技を

4月22日(月)6年竹組に続き、今日の朝礼では、5年竹組の集団行動隊がお手本を見せてくれました。集団行動の基本である姿勢(気をつけ・休めなど)、方向転換(右向け右・回れ右など)、整とん(前へならえなど)を身につけることによって、集団規律を高めるとともに、正しい集団のルールを身につけ、集団が正しい方向へ向かうようにしたいと考えています。

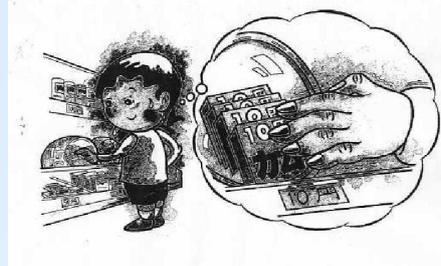


「集団規律が高まれば、約束やきまりを守ることができるようになるばかりか、集団の目標を達成するためには、互いが協力し助け合うことが必要になる。どのような場合でも集団の一員として協力しなければならぬ。協力するためには、相手の気持ちを考えながら行動しなければならない。よって思いやりの心も生まれるはずである。」 このようなねらいの下に、集団行動の基本を全校児童に徹底させたいと取り組んでいます。

全校朝礼の話より－良い心について(5/20)

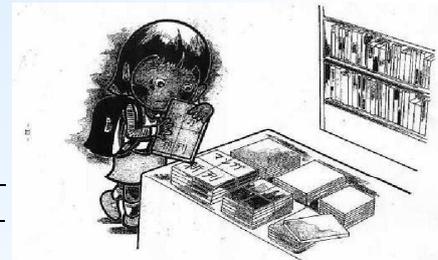
さて、今日は、「良い心」についてのお話をします。

この絵を見て下さい。コンビニで、大好きなお菓子を見つけました。でも、お金がありません。ただどうしてもほしいと思っています。



次の絵です。大好きな本がありました。読みたくて仕方ありません。でも封がしてあって中は見られません。さっき違う本を買ってしまって、今はお金がありません。このあと二人はどうしたでしょうか？

「万引き」という言葉、知っていますか？お店から、お金を払わずに品物をもってきてしまうことです。実は、この後、コンビニの子は万引きは絶対にいけないと思い、そのまま帰りましたが、本屋さんの子は万引きをしてしまいました。すぐにお店の人に見つかって、警察に連れて行かれました。お母さんとお父さんが呼ばれて注意を受け、その後、お父さんとお母さんと3人でお店に謝りに行きました。お父さんとお母さんも一緒に謝ってくれましたが、お母さんはずっと泣いていました。



その後、この子は、お店の前は怖くて通れなくなりました。仲の良かった友達も変な目で見てくるんじゃないかと思ってしまい、仲よく話すことが出来なくなりました。

どうしてでしょうか。それは心の中にある「良い心」が傷ついてしまったからです。「良い心」は誰でももっています。その「良い心」が傷つくと自信がなくなり、今までのような生活が出来なくなってしまいます。「自分は悪い子だ」という思いが心の中に入り、広がってしまうのです。

では、どうしたら傷ついてしまった「良い心」を元に戻すことが出来るのでしょうか？

それは、「もう絶対に悪いことはしない」と心に誓うことです。誓うだけでなく、行動で示すことです。そうすると心の傷が治り、もとの「良い心」に戻ります。この子は「もう絶対に万引きはしない」と心に誓いました。そして、二度と万引きはしませんでした。その結果、「良い心」がもとに戻り、自分は悪い子ではないと感じられるようになりました。そして、また友達とも仲よく過ごすことが出来るようになりました。

校長先生は、以前、中学校の担任をしているとき、警察の人とお仕事を一緒にする機会がありました。そのとき、万引きをした子ども達で、万引きをすることが普通になってしまう人がいて、やがて自動車を盗んだり、人を脅してお金を奪うようになってたりして逮捕された人をたくさん見ました。万引きは、犯罪です。窃盗罪と言います。見つかってから、品物を返しても、お金を払っても盗んだことに変わりありません。どんどん悪い心が芽生え、大きな犯罪に結びつくことがあるのです。どんなことがあっても絶対にしてはいけません。みなさんのもっている大切な「良い心」が傷ついてしまいます。